

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 312 (通算 642 回)

2015 年 12 月 22 日 (火)

大変革期の SD 進化——

大学院・センターのスタッフ育成力の活用策

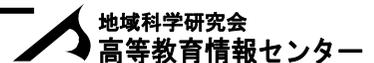
～企画・経営・教学管理の専門職員とは／養成プログラムの展開～

- ※ 激動の時代を働きぬく職員／桜美林大アド研究科の実践／各大学院プログラムと研修体系のコラボ
- ※ [東京大] 大学院プログラムの目的・カリキュラム／院生の属性・入学動機・テーマ／修士調査結果から
- ※ [筑波大] 誰も知らない大学マネジメント／「できる」職員の熟達化プロセス／履修証明プログラムの中核
- ※ [立命館大] 研究・研修センターの事業・特徴と成果／専門的職員とSD義務化に対応した展開

● 講師陣 ●

山本 眞一 氏 / 桜美林大学 大学アドミニストレーション研究科 教授
 両角亜希子 氏 / (国) 東京大学大学院 教育学研究科 准教授
 加藤 毅 氏 / (国) 筑波大学 大学研究センター 准教授
 西川 幸穂 氏 / (学) 立命館 人事部長 大学行政研究・研修センター 事務局長

2015 年 12 月 22 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



日時: 2015 年 12 月 22 日 (火) 10:00~16:40
 会場: 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩 10 分

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。
 参加費: A. 一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、消費税込)
 C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (消費税込)
 ※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
 ☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認ください。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 312

2015 年 月 日

大学院・センターのスタッフ育成力の活用策

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加

勤務先 _____

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込

所在地 〒 _____

必要書類 □請求書 □見積書

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目 (改訂あり次第、HPへ公開)
10:00) 11:30	<p>□ 激動の時代を主体的に働きぬく大学職員養成の新展開 ～桜美林大アド研究科等の大学院プログラム事例を踏まえて～ 桜美林大学 山本 真一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等教育環境の激変と今後 2. 大学職員に求められるもの <ul style="list-style-type: none"> (1) 地位向上 and/or 能力開発? (2) 役員・教員・職員の協働と役割分担 (3) 問題解決能力あつての大学職員 (4) 修士の学位を評価せよ 3. 桜美林大アド研究科の実践 <ul style="list-style-type: none"> (1) わが国初の大学アドミニストレーター養成機関 (2001～) / 通信教育課程 (2004～) (2) 学問と実践のバランス (コアと専門科目) (3) 全国から集まり、これまで400人以上が修了 (4) 多彩なネットワークの中で 4. 大学院プログラムの評価と改善方向 <ul style="list-style-type: none"> (1) さまざまな大学における大学院プログラムのケース (2) 1年制修士プログラムの可能性 (3) 各大学の研修体系と大学院プログラムとのより良い関係 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
11:40) 13:00	<p>□ [東京大] 大学経営・政策コースにおける大学経営人材養成の取り組み ～目的・現状・展望～ 東京大学 両角 亜希子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学経営人材の大学院での養成 <ul style="list-style-type: none"> (1) 大学経営人材をめぐる課題 (2) なぜ、大学院プログラムか 2. 大学経営・政策コースの教育プログラム <ul style="list-style-type: none"> (1) 目的と特徴 (2) カリキュラム (3) スタッフ (4) 学生の属性・入学動機等 (5) 修士論文・博士論文のテーマ例 3. 現状評価と今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 修了生調査の結果からみた現状評価 (2) 修了後のかかわり (3) 潜在ニーズの発掘とさらなる発展へ <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
14:00) 15:20	<p>□ [筑波大] Rcus 大学マネジメント人材養成プログラムのチャレンジ ～大学マネジメントを切り開く人材像を発明し具現化する～ 筑波大学 加藤 毅</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ大学経営人材の養成が必要とされるのか 2. 社会科学系社会人大学院の本質的な難しさ <ul style="list-style-type: none"> (1) 問われ続けている大学院教育 (2) 希求される「専門職」という panacea (3) 「通常科学」の限界 3. 誰も知らない大学マネジメント <ul style="list-style-type: none"> (1) 局所的暗黙知の世界 (2) 語られざる真実 (3) 「大学マネジメント」を発明する 4. 空回りするマネジメント現場 <ul style="list-style-type: none"> (1) 多忙化と高度複雑化 (2) ロールモデルの不在 (3) 姿をくまます Good Practice (4) 行き詰まる研修 (5) 第一世代のスーパースター 再考 5. 大卒ホワイトカラー総合職モデルの可能性 <ul style="list-style-type: none"> (1) 職場で成長する「できる」大学職員 (2) 「できる」大学職員の仕事の構造 (3) 「できる」大学職員の熟達化プロセス (4) 中途採用一般職員のインパクト 6. 大学を理解し経験を省察しプロジェクトをデザインする ～履修証明プログラムの中核～ <ul style="list-style-type: none"> (1) 「大学基幹業務システム論」と「創造的業務設計論」 (2) 苦悩し失敗を重ねて来た「達人」からの学び (3) バーチャル OJD2 がデザイン力を鍛える 7. 職員のリーダーシップがトップマネジメントを具現化する <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
15:30) 16:40	<p>□ [立命館大] 政策立案し、実践できる職員の育成 ～大学行政研究・研修センターの軌跡と今後の展開～ 立命館 西川 幸穂</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. センター設立の経緯とその背景 <ul style="list-style-type: none"> (1) 大学をめぐる環境と職員育成課題 (2) 大学アドミニストレータの育成 (3) 「研究・研修センター」としたことの意義 2. センターの事業内容とその特徴 <ul style="list-style-type: none"> (1) 大学アドミニストレータ養成プログラム (2) 政策立案演習～政策論文作成と発表 (3) 受講状況とその成果 (4) プログラムの問題点とリニューアル課題 3. 今後の展開～高等教育をめぐる環境の変化を踏まえて～ <ul style="list-style-type: none"> (1) 育成型人事制度の展開とセンターの位置 (2) 大学職員をめぐる環境の変化とセンターの役割 (3) 「専門的職員」「SDの義務化」の提起のなかで (4) センターとしてのスタッフ育成力形成に向けて <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>